

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス そらいろ		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 1日		～ 令和6年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育に関する道具は手作りの物が多い。親しみを感じられ、安心して使える。また、廃材を使うことで、リサイクルにも意識を向けさせる。	家にある廃材を集めることでリサイクルに関する知識も身につけてもらう。また、身近なものを使い安心感をもって使えるよう工夫している。	家庭でも使用したり、作れるように作り方などの発信も検討している。
2	家庭と近い環境にしていることで、子どもたちも安心して利用できることと、家庭内での子どもの姿に共感ができる。	子どもの様子を詳細に伝えることで、子ども自身の困り感・保護者の困り感を共有しあえ、療育活動につなげている。	職員間でも共通理解を深めいき、学校などとも連携が取れるようにしていきたい。
3	子どもたちの自分できるという気持ちを自信にできるよう、いろいろなことに挑戦する機会を作っている。	季節に合わせたイベントをいれたり、クッキングなどを定期的にいれ、自分で考え、作るという機会を増やし、自信にしていこう活動を考えている。	家庭から離れたところでの子どもの姿を見てもらえる時間をつくっていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所開所してから日が浅いため、利用者の安定が難しいところがあった。子どもたち同士の関わりが落ち着かなかったり、少ない時があった。	集団での活動の広がりが少ないときがあったが、少しずつ安定してきている。	今後も安定していくために、周知をしてもらえるよう、SNSなどを活用し、情報発信していく。
2	事業所の環境・設備	一般的な家を事業所にしているため、老朽箇所も出てきている。費用の面があり難しいところもあるが、安全性を最優先し修繕を考えていきたい。	月に1回は点検を行い修繕箇所の確認をする。安全意識を持つことを徹底していく。
3	外部や地域交流の参加がない。	事業所の療育活動に専念しているところもあった。	今後外部や・地域との交流できる場に積極的に参加していき、広がりを持った運営を行っていきたい。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名						公表日	R7 年 1 月 31 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		机などを移動できるようにし、活動により環境を変えている。	全体では十分スペースは確保できている。引き続き快適に過ごせる環境づくりを心がけていく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		ルールに沿った人員配置にしている。	活動内容などにより職員の増員も検討していく。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		子どもにとってわかりやすいように工夫している。	必要な個所から修理してく予定。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の掃除と必要なところには消毒を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	2	クールダウンや個別療育に使用できる部屋はある。	どういうときに使用するかを職員間で共通理解していく。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		朝のミーティングで活用できている。	研修等を取り入れていく必要はある。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	全体ミーティングで結果報告し、改善等話し合う時間を設けた。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	朝のミーティングのほかに月に1回ミーティングの時間を作り業務改善につなげている。	長期休暇などで時間がとりづらいときがあるため、意識して時間を作っていく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				まだ実施できていない。今後検討していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期的に研修を実施している。	今後も研修を増やしていきたい。		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		HP・SNSで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	5		一人ひとりに対してきめ細かいアセスメントを行い、支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		作成前には必ず担当者会議を開き、職員間での共通理解のうえで作成している。	今後も継続していく。
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	ミーティングなどで共有できるよう意識している。	支援計画が常に確認できるようにしておく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		適切な項目を定め具体的な支援目標を設けている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	決められた職員が考えているが、意見交換ができるようにしている。	職員全員が把握しておけるようにしておく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		ルール・やり方などを変える工夫はしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	5		集団療育・個別療育わけながら支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	毎日ミーティングの時間を作り、情報を共有している。	職員全員が把握できるように工夫が必要。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	個人記録を作成している。	毎日支援終了後話し合うことは難しいが、気になることの共有はできている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		必要な場合はモニタリングを行い見直しを行っている。	
	24	<b>【放デイのみ】</b> 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		意識して支援を行っている	
	25	<b>【放デイのみ】</b> こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		本人の意思を尊重して支援を心がけている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		可能な限り参加するように努めている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて連携をとるようにはしている。	連携を意識して活動していきたい。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		現在はできていない。今後検討していきたい。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時に口頭で伝えるよう意識し、職員にも徹底している。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		現在はできていない。今後検討していきたい。
	32	<b>【児発事業所・児発センターのみ】</b> 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	<b>【児発事業所・児発センターのみ】</b> 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	<b>【児発センターのみ】</b> 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

	35	【 <b>児発センターのみ</b> 】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【 <b>児発センターのみ</b> 】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【 <b>放デイのみ</b> 】学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	4		1人ひとりスケジュールを調整している。	
	38	【 <b>放デイのみ</b> 】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			必要があれば、情報共有していきたい。
	39	【 <b>放デイのみ</b> 】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			必要があれば、情報共有していきたい。
	40	【 <b>放デイのみ</b> 】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		参加したことがない。機会があれば参加していきたい。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に丁寧な説明を心がけている。	継続して丁寧に説明していく。
	42	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		契約時やサービス担当者会議などでご家庭や子ども意思を確認したうえで作成している。	
	43	「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		支援計画作成時や更新時には必ず、保護者に説明を行ってから、同意をもらっている。	今後も継続していきたい。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談があった場合は助言等を行っている	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			検討しているが、実行できていない。今後は実行していきたい。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		責任者が対応を一本化し内容を確認・報告を速やかに行っている。	今後もけいぞくしていく。また、職員にも共有を徹底する。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HP・SNSで定期的に発信している	発信回数をふやしていきたい。

	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時に同意を得ることを徹底し、取り扱いには十分留意している。	
	49	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		送迎時等当日の様子を口頭で連絡するようにしている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		地域住民を招待する機会はないが、開かれた運営は意識したい。
	51	<b>【放デイのみ】</b> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談があった場合は面談の時間を作ったり、助言等を行っている。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		月に一回避難訓練を行っている。	
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		定期的に訓練を行っている。	
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		全員の状況を把握しており、対応も共有している。	
	55	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		事前に保護者と相談しながら対応している	今後も必要に応じて対応していきたい。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に確認している。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			家族への周知ができていない。周知の方法を徹底していく。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット報告書を作成している。月に1回のミーティングで情報を共有している。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		マニュアルに基づいて研修を実施。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			現在のところそのような状況は発生していない。発生した場合の対応については研修を行っていく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	そらいろ
------	------

令和 7 年 1 月 31

公表日 日

令和 7 年 1 月 20

利用児童数 日

回収数 14枚

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	79%	7%		14%		活動に合わせて室内を確保できるように対応している。説明等を行っていく
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	85%			15%		利用者のに合わせて職員の配置は適切に対応していく。契約時などの説明を行う。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	72%	21%		7%		バリアフリーになっていないところはあるが、支援が必要な利用者には必ず職員が支援を行うよう徹底していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	86%	7%		7%		毎日の清掃を行い、月に一度点検シートをつけてチェックをしている。保護者の方にも希望があれば公表できるようにしておく。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93%	7%				研修等を行い特性に応じた対応ができるよう、職員の資質を高めていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	86%			14%		支援の内容が伝わるような工夫を取り入れ、日々の支援の内容を理解してもらえるように工夫していく。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					今後も継続して行っていく。
	8 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	93%			7%		支援計画の見直しを行い、保護者の同意・納得を得られるようわかりやすく説明を行くことを徹底する。
	9 児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	86%	14%				普段の支援から支援計画に沿った支援を意識しており、記録に残している。保護者の希望があれば公表できるようにしておく。

	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	85%	15%				今後も利用者が楽しめるような活動を計画していき、いろいろな分野での広がりができるよう提供していく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	36%	14%	7%	43%		検討中。機会があれば積極的に交流をしていきたい。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					今後も丁寧な説明を心がけていく。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					今後も丁寧な説明を心がけていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29%	29%	7%	35%		検討中。情報共有の何なるような研修など考えて実行していきたい
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					今後も共通理解に努めていきたい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					必要な場合は会議や面談の場を設け、相談できる場所であるよう心がけていきたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					今後も継続して支援を行っていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21%	29%	21%	29%	きょうだい同士の支援がわからない。昨年は保護者会はあったが1回だけだった。	保護者の方が集まる機会を設けるところまでに至っていないかった。考えてはいるが今年は実行し、保護者・きょうだいの関わりる場所を提供できるよう計画していく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	85%			15%		できるだけ迅速に対応していけるよう心がけている。継続して行っていきたい。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					継続して続けていきたい。
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	79%			21%		継続してホームページ・SNSで活動を発信し、保護者にも認知してもらえるよう呼びかけていく。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	85%			15%	文書化し説明を行っている。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	64%			36%	説明があったかわからない。 契約時などに保護者の方にも知ってもらえるよう説明を行う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	71%			29%	定期的に避難訓練などを行っている。今後も継続して行ってきたい。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	93%			7%	安全の確保は最重要として支援を行っている。継続して支援を行ってきたい。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	85%			15%	保護者への説明は徹底している。説明不十分にならないよう徹底していく。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	93%	7%			安心して利用してもらえるよう、引き続き環境などを整えていく。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	93%	7%			継続して支援を行っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				今後も引き続き、安心して利用してもらえるよう職員一同丁寧に支援をおこなってきたい。

事業所名

放課後等デイサービスそらいろ

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

7年

1月

15日

法人（事業所）理念		障がい児が日常生活における基本的動作を取得し、集団生活に適応することができるように、障害児等身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うもの。			
支援方針		楽しくできるをもちに、自分に自信が持てる、他者と共有できる喜びを感じながら、社会スキルを身に付けていけるよう支援を行っていきます。			
営業時間		9時0分から	18時0分まで	送迎実施の有無	あり なし
本人支援	健康・生活	衛生習慣や身辺自立等を年齢に合わせて支援します。 クッキングをする楽しさや食べる事の楽しさ等、食育について支援します。 (おやつ作り、昼食作り、ボタンの着脱など)			
	運動・感覚	体力向上の運動活動を支援します。 日常生活に必要な運動の基礎となる姿勢保持や全身運動など支援します。 体感を鍛え能力の維持・強化を支援します。(サーキット、マット運動、跳び箱、ジャンプ体操、ダンス、視覚、聴覚を刺激するゲームなど)			
	認知・行動	自己コントロールや自己規制ができるように支援します。 空間・時間・数等の概念形成の習得を支援します。 外部環境の適切な認知と行動の習得を支援します。(ビジョントレーニング、ブロックを使った創作活動、音楽やリズムを使って五感を刺激する活動。視覚支援で正しい行動)			
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちを表現する力を育てます。 活動を通し、お友達同士のコミュニケーションを楽しみます。 言語を受容し表出する支援をします。(生活の中で起こりうることやゲーム感覚で楽しめるSST。人前で発表する機会を設ける。自由遊び設定)			
	人間関係 社会性	協力して物事を達成する力を育てます。 他者との関係構築や共同作業能力・協力関係ができる力を養います。 (集団活動、製作、音楽、)			
家族支援		半年に一回のモニタリングで今後どのような支援をさせていただくかをお伝えします。 日々送迎などで子供の状況をお話したり、情報を共有します。	移行支援	必要に応じて、保護者の方の意向を伺いながら子どもが在籍する学校と状況を共有する。	
地域支援・地域連携		地域の公共施設や公園を利用し、地域資源を利用しています。		職員の質の向上	毎月のミーティングを行い、子どもの状況について話し合い意見を出し合い支援方法を学んでいます。虐待や身体拘束、感染症、BCP等の内部研修を文献など参考にしながら取り組んでいます。
主な行事等		戸外活動（散歩、公園遊び） 社会見学（工場見学複数、防災センター、子ども食堂、動物園など） 季節行事（花見、ハロウィン、夏祭り、クリスマス会、お楽しみ会） 食育（昼食作り、おやつ作り） その他他事業所			